

JAWS-UG初心者支部初登壇！
（ガチの初心者です！）



ノンエンジニアの営業マンが、無謀にも builders.flashの記事を見てノーコード実装に 挑戦してみた

JAWS-UG初心者支部#62

西 貞臣

自己紹介

- 名前：西 貞臣（にし さだおみ）
- 会社：トレノケート株式会社
- 職種：営業職 **※エンジニア経験は皆無**
- 出身：大阪市 **※住んでいるところは関東**
- 趣味：筋トレ、ポケモン、海外サッカー
- Xアカウント：<https://twitter.com/sadabon444>



山下さんと同じ会社です！



1 Chapter 1 : チャレンジのキッカケ

2 Chapter 2 : 苦悩と悶絶の日々

3 Chapter 3 : 見えた！希望の光

4 Chapter 4 : 結果やいかに... ?

5 Chapter 5 : 得られた学び

Chapter 1 : チャレンジのキッカケ

1 Chapter 1 : チャレンジのキッカケ

2 Chapter 2 : 苦悩と悶絶の日々

3 Chapter 3 : 見えた！希望の光

4 Chapter 4 : 結果やいかに... ?

5 Chapter 5 : 得られた学び

ズバリ10月12日のJAWS FESTAです！

広島でのJAWS FESTAがキッカケです

● JAWS-UGのみなさんと親睦を深めたいと思いました

- ・ はじめてのJAWS FESTAは、大変刺激的で楽しかったです！
- ・ 「このステキなコミュニティにもっと関わりたい」 → 「そのためには共通言語が必要である」 → 「AWSの理解を深める必要がある」、という思考回路でした

広島のカキフライとご当地ビール
(サイコーに美味)

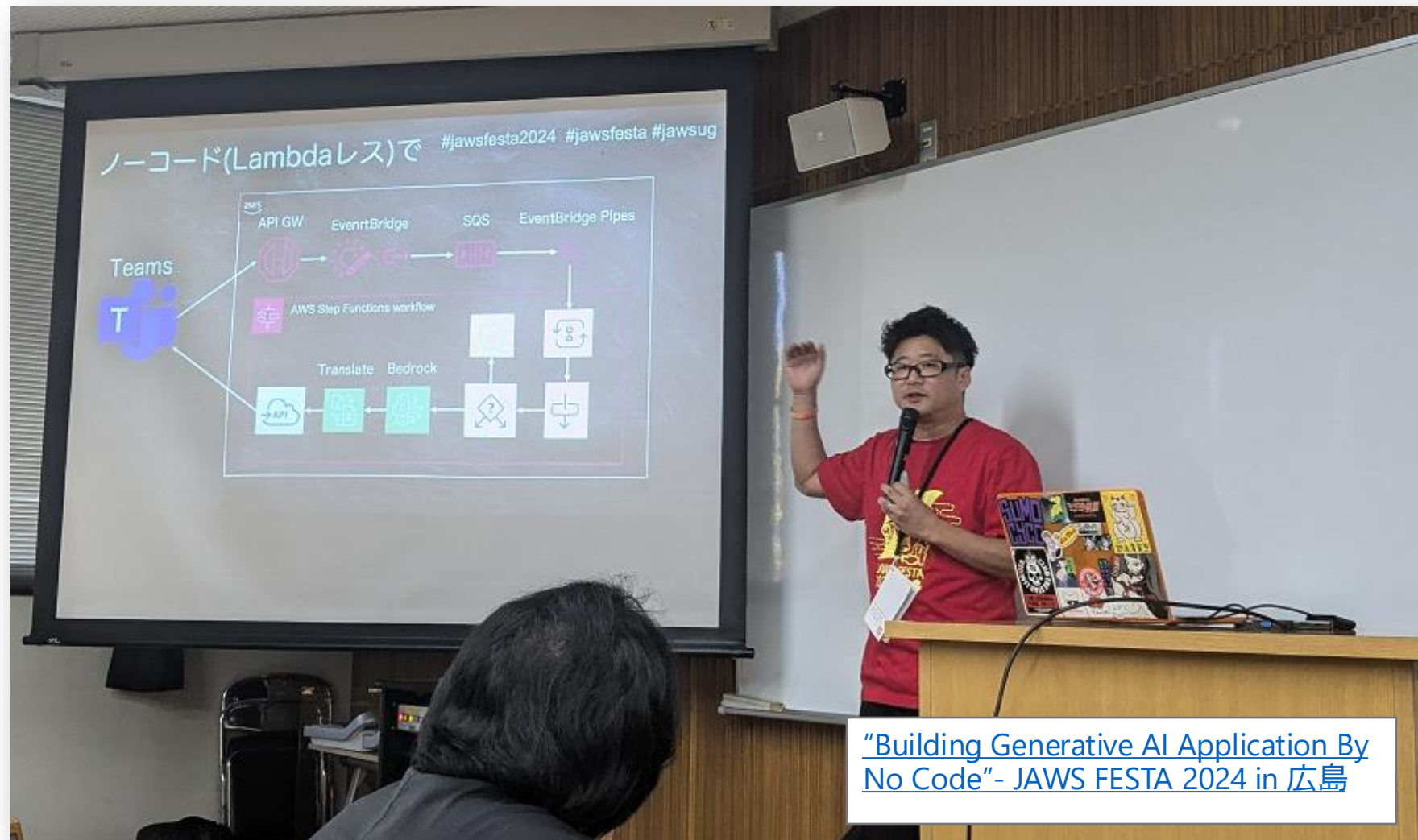


正しい知識を持って誠実にお客様に接する営業でありたい、というのもキッカケです！



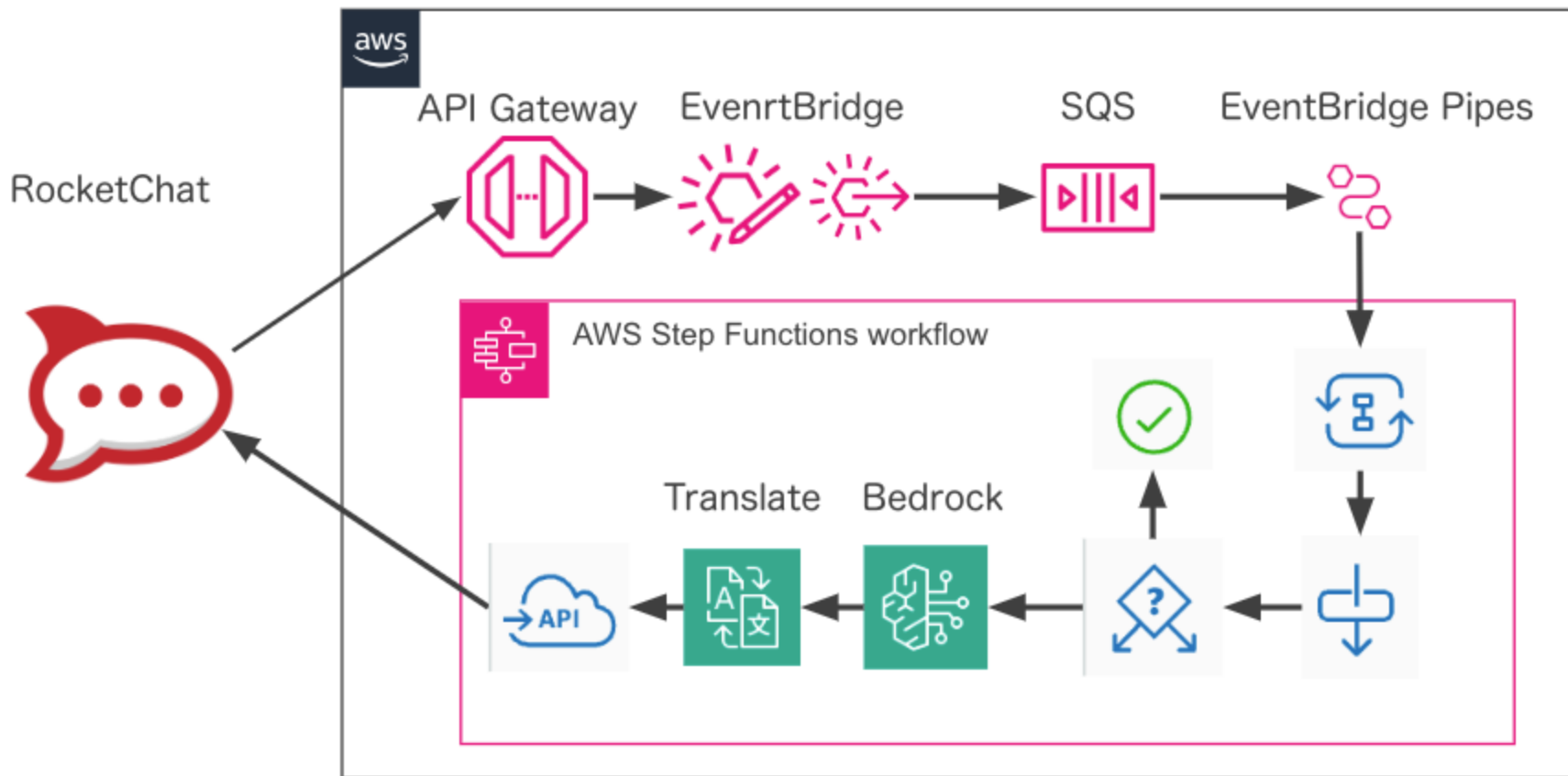
Chapter 1 : チャレンジのキッカケ

山下さんがJAWS FESTAで言及されたものに挑戦！



Chapter 1 : チャレンジのキッカケ

全体像



[AWS トレーニングを活用して、ノーコード実装の生成 AI チャットボットを設計する - builders.flash☆ - 変化を求めるデベロッパーを応援するウェブマガジン | AWS](#)

Chapter 2 : 苦悩と悶絶の日々

1 Chapter 1 : チャレンジのキッカケ

2 Chapter 2 : 苦悩と悶絶の日々

3 Chapter 3 : 見えた！希望の光

4 Chapter 4 : 結果やいかに... ?

5 Chapter 5 : 得られた学び

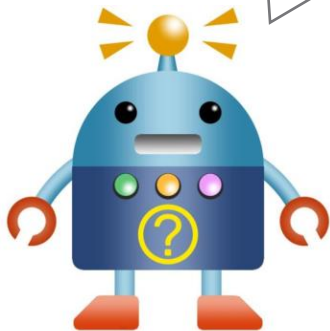
ビツツツツクリするほどうまく行きませんでした

悲しくなるほど自分の力不足を痛感ツツ…

● 知識も経験もない営業には修羅の道でした

- ・ はじめる前：「サクッと終わらせて他のハンズオンにも挑戦や！」
- ・ はじめた直後：「な、何をしてもうまいかんぞ…」
- ・ はじめて1週間後：「丁寧に書いてくださっているのにできない私って、もしかしてヤバすぎ…??」
- ・ はじめて2週間後：夢にでてくる 華麗に問題解決→夢と気付いて涙

ピザをたべても
なんの問題解決にも
ならないのに…



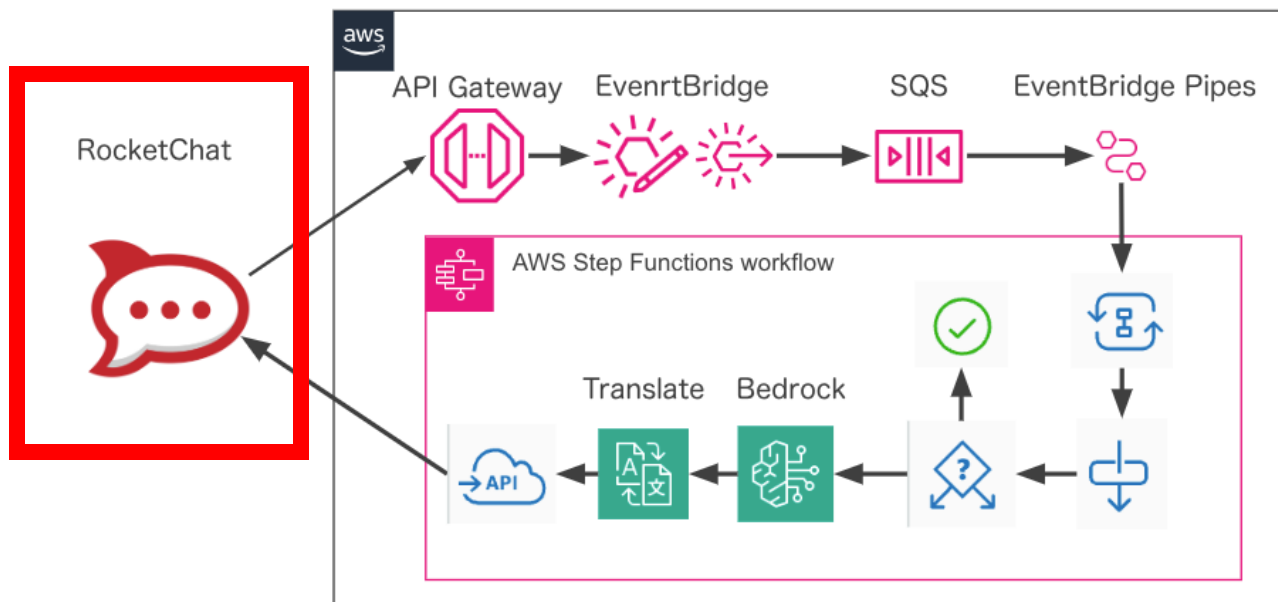
現実逃避とストレス解消を目的に
ひとりで平らげたピッツァ

苦悶ポイントその①～RocketChat～

そもそもRocket Chatをインストールできない

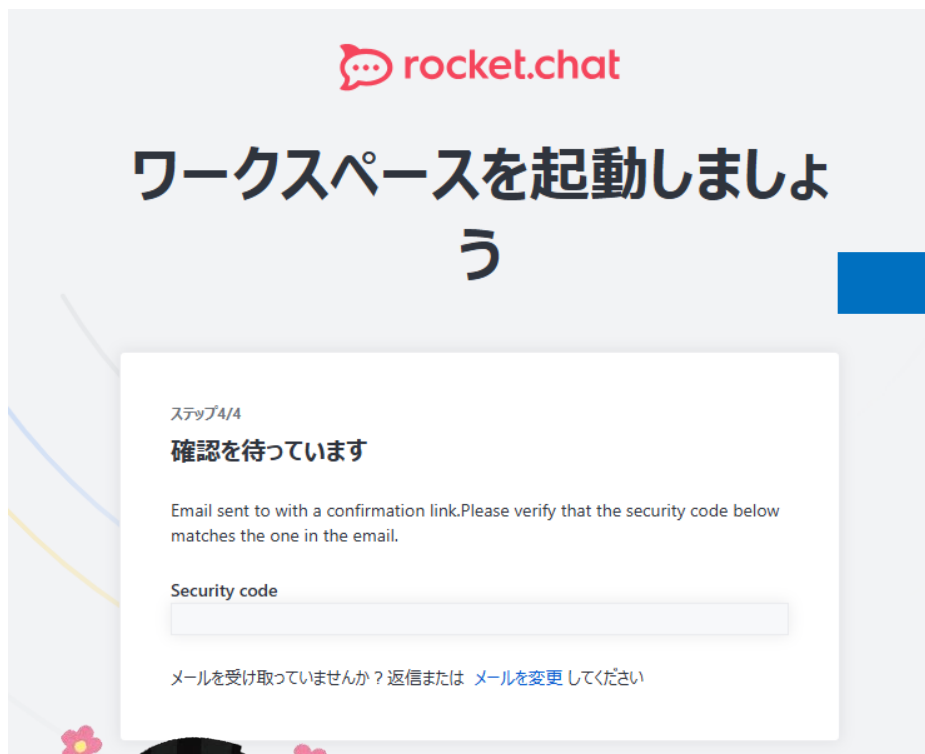
●STEP 0のRocket Chatのインストールに大難航

- 土俵に立つ前から大難航。情けない...
- 公式ドキュメントに加え、以下のブログサイトを見てなんとか実装
[Rocket.ChatをAmazon EC2 Ubuntuサーバーで起動 | ヤママギ](#)
[Rocket.Chatを1行でAWS上に導入 #EC2 - Qiita](#)



Chapter 2 : 苦悩と悶絶の日々

苦悶ポイントその①～RocketChat～



rocket.chat

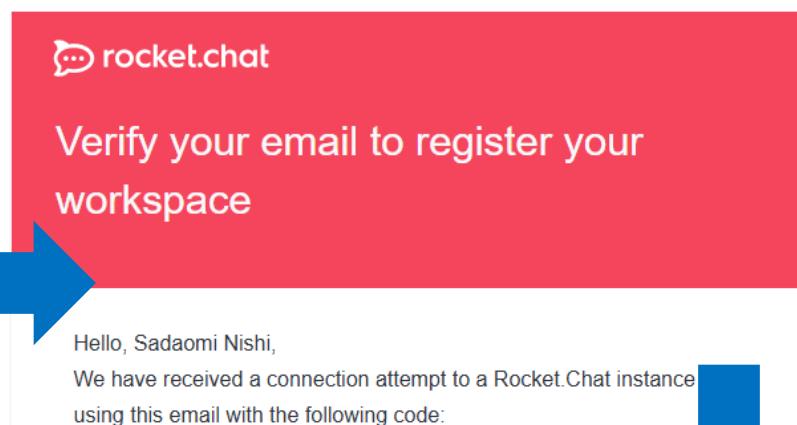
ワークスペースを起動しましょ う

ステップ4/4
確認を待っています

Email sent to with a confirmation link. Please verify that the security code below matches the one in the email.

Security code

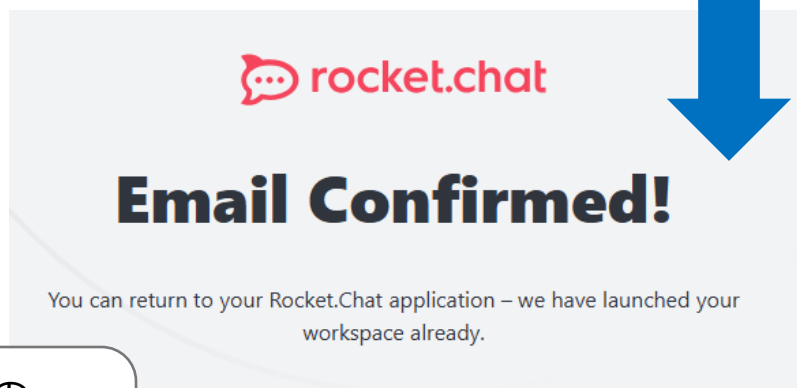
メールを受け取っていませんか？返信または [メールを変更](#) してください



rocket.chat

Verify your email to register your workspace

Hello, Sadaomi Nishi,
We have received a connection attempt to a Rocket.Chat instance using this email with the following code:



rocket.chat

Email Confirmed!

You can return to your Rocket.Chat application – we have launched your workspace already.



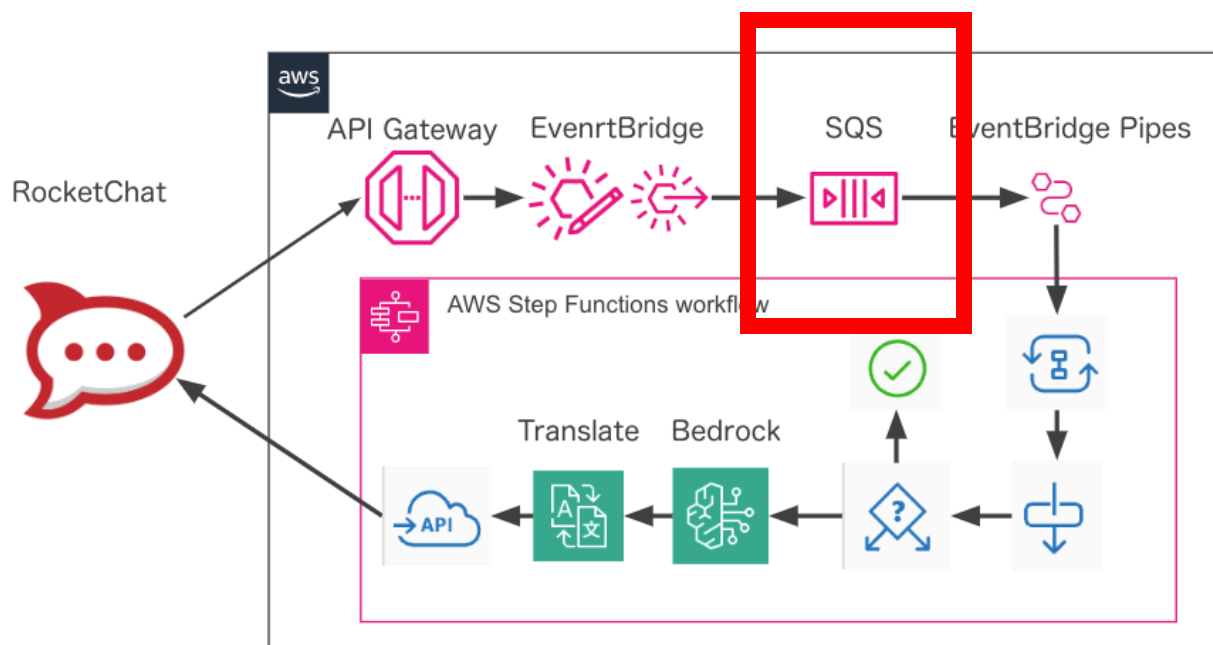
余談ですが、SSL化の
トラブルシューティングには
ChatGPTが役立ちました！

苦悶ポイントその②～SQS～

何をどうやってもSQSにメッセージが届かない

● 設定を何度を見直してもSQSにメッセージが届かない

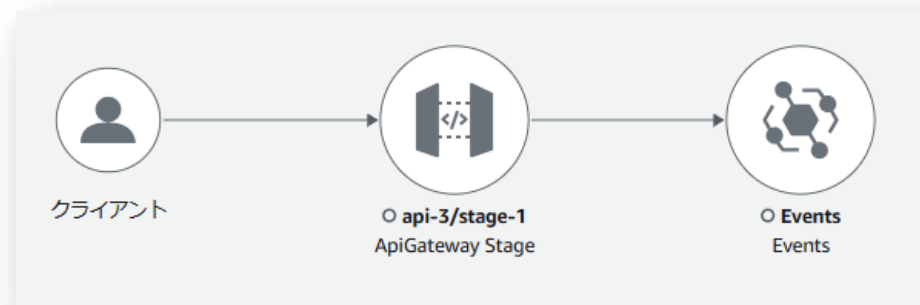
- その後もRocketChatの独自ドメイン・SSL化など、
順調に(?) つまづきながら、なんとか中間ポイントに到達
- しかし何回ポーリングをしてもメッセージが届かない



Chapter 2 : 苦悩と悶絶の日々

苦悶ポイントその②～SQS～

X-Rayの画面



SQSの画面



Chapter 3 : 見えた！希望の光

1 Chapter 1 : チャレンジのキッカケ

2 Chapter 2 : 苦悩と悶絶の日々

3 **Chapter 3 : 見えた！希望の光**

4 Chapter 4 : 結果やいかに... ?

5 Chapter 5 : 得られた学び

色々やって、徐々に光が見えてきました。

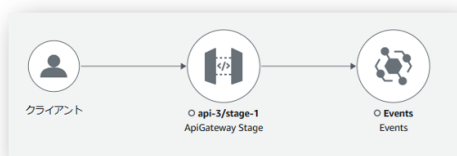
トラッシューにおいて役立つ行動4選

- ① ログを見る (思わぬヒントが潜んでいる)
- ② ChatGPTに聞く (1回だけでなく何回も聞く)
- ③ ぽけーっとしながら散歩する (「下りてくる」感覚がありました)
- ④ どうしようもないときは...人に聞く (いつもありがとうございます)

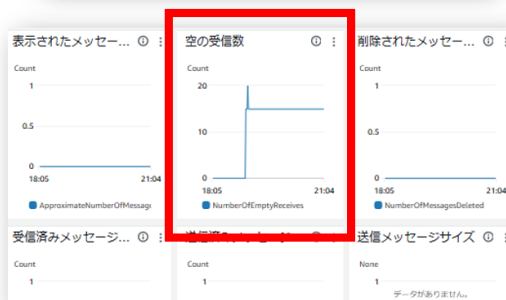
① ログを見る

苦悶ポイントその②～SQS～

X-Rayの画面



SQSの画面



API GatewayのCloudWatchログ

400番エラー “SerializationException”

→リクエストを適切に解析できない場合のエラー

リクエストフォーマットの不一致 (例: データ型が不正)、APIバージョンの不整合、エンコードエラー (例: リクエストデータがUTF-8形式でエンコードされていない、無効な文字が含まれる)

→よくAPI Gatewayの設定を見直すと...

**マッピングテンプレートの最後の } が抜ける
痛恨のミス...**



Chapter 3 : 見えた！一筋の光

色々やって、徐々に光が見えてきました。

① ログを見る

コンテンツタイプ : application/json

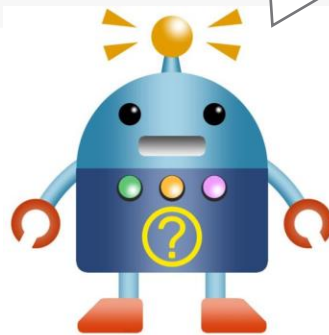
テンプレート本文

JSON

```
1 #set($context.requestOverride.header.X-Amz-Target = "AWSEvents.PutEvents")
2 #set($context.requestOverride.header.Content-Type = "application/x-amz-json-1.1")
3 {
4   "Entries": [{
5     "EventBusName": "chat-event",
6     "Source": "rocketchat.chatbot",
7     "DetailType": "WebhookMessage",
8     "Detail": "$util.escapeJavaScript($input.json('$'))"
9   }
10 }
```

右下の「コピー」ボタン
からコピーすれば
良かったのに...

コピー



おっしゃる通り...



Chapter 3 : 見えた！一筋の光

④人に聞く



NISHI Sadaomi 10/28 8:22

AWSハンズオン、泥沼化するの巻（苦笑）

いや、ノーペインノーゲイン...頑張ります。

=====

・トラブル：SQSのキューを見てもメッセージがない

・概要：

X-RayではちゃんとRocket Chat→API Gateway→EventBridgeまでは飛んでいるっぽい

しかし、API GatewayとCloudwatch Logsを連携するも、ロググループに何も無い（設定ミス？）

・今後の予定：API GatewayとCloudwatch Logsの連携を見直す（何か見落としてそう...）

AWS トレーニングを活用して、ノーコード実装の生成 AI チャットボットを設計する - builders.flash☆ - 変化を求めるデベロッパーを応援するウェブマガジン | AWS



AWS トレーニングを活用して、ノーコード実装の生... ✕

AWS トレーニングの Developing Generative AI Applications on AWS で体験できる、ノーコードで実装できるチャットボットの設計と...

aws.amazon.com



YAMASHITA Mitsuhiro 10/28 8:36

EventBridgeイベントバスのルールに引っかかってないように思いますね。



Thank you!!



Chapter 4 : 結果やいかに…？

1 Chapter 1 : チャレンジのキッカケ

2 Chapter 2 : 苦悩と悶絶の日々

3 Chapter 3 : 見えた！希望の光

4 **Chapter 4 : 結果やいかに…？**

5 Chapter 5 : 得られた学び

Chapter 4 : 結果やいかに…?

まさかのあと一歩で断念…残念無念。



みのるん
@minorun365

事象発生している方多そうなので、取り急ぎ情報をまとめています！
#Bedrock開発入門

最近、Amazon Bedrockのモデルアクセスが「使用不可」だらけの場合の
対応策まとめ

qiita.com/minorun365/ite...

Translate post

Qiita

最近、Amazon
Bedrockのモデルアクセスが「使用
不可」だらけの場合の対応策まとめ



@minorun365

in KDDIアジャイル開発センター株式会社

最近、Amazon Bedrockのモデルアクセスが「使用不可」だらけの場合の対応策まとめ -...

From qiita.com

9:56 PM · Nov 4, 20

引用元

[みのるん on X: "事象発生している方多そうなので、取り急ぎ情報をまとめています！ #Bedrock開発入門 最近、Amazon Bedrockのモデルアクセスが「使用不可」だらけの場合の対応策まとめ https://t.co/OMQCwlqOMI" / X](#)



I'm Sorry!!



Chapter 5 : 得られた学び

1 Chapter 1 : Why Copilot in Outlook?

2 Chapter 2 : イチ押し！ Copilotによる要約

3 Chapter 3 : 期待の星？メールの下書き

4 Chapter 4 : 結果やいかに... ?

5 **Chapter 5 : 得られた学び**

多くの学びを得ました。

(当たり前だが) 見るのとやるのは大違い

- 当たり前ですが、見るのと実際にやるのは大違いと痛感しました。
- また、自分の適性のなさを冷静に理解すると共に（苦笑）、エンジニアの方々に対する尊敬の念がより一層深まりました。

問題解決のプロセスで色んな学びが得られる

- ウンウン頭を悩ませながら、X-RayやCloudWatch Logsなど、触る予定のなかった各種サービスとニラメッコできたのは非常に有意義でした。
- あえて誤った設定を入れることで挙動を見てみることで、有名人の方々の記事を調査することも、有意義でした。

意気込み

- 今回は失敗してしまいましたが、必ずリベンジします！

No Pain, No Gainや！





*Thank You
for Listening!*